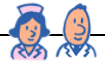
〈腹腔（ふくくう）鏡下鼠径ヘルニア手術クリニカルパス〉

様

	手術前日　　/	手術当日　　/	術後1日目（午前退院）　　/
観察		体温・脈拍・血圧などを定期的に測定します 手術後、呼吸に異常がないか、吐き気がないかを観察します 手術後、創部の観察を行います 	体温・血圧などを定期的に測定します 創部の観察を行います 
安静	制限はありません 	術後の制限はありません 最初は看護師と一緒に歩きます 	制限はありません 
食事	21時以降より絶食となります 	朝6時以降は飲水ができません  帰室3時間後から飲水が可能です 手術が午前中に終了した場合、夕方から普通食（主食：おにぎり）が　始まります	朝から普通食が始まります 半分以上の摂取を目指しましょう 
清潔	入浴またはシャワーを浴びることができます 入院までに爪を切ってきてください 		入浴できます 
排泄		帰室後からトイレ歩行ができます	
診察 処置	入院日にへそをきれいにします	手術後、病棟に戻ります 手術後、心電図モニターや、必要時には酸素を使用します 	創部を診察します 
検査	必要に応じて検査を行います		
薬物 療法		手術室で点滴を入れます  （ただし、手術が午後からの場合は朝より点滴を始めます） 点滴は手術当日のみで終了です（手術終了から約8時間後） 手術6時間後より消炎鎮痛剤の内服があります。痛みが強い場合（常時、強い痛みが続く）はその他の鎮痛剤を使用することがあります	
説明	入院時、入院中の注意点・手術に関する説明などを看護師が行います 	手術後、医師よりご家族へ電話で説明があります 	退院後の注意事項について説明があります 
指導	入院時、治療計画についての説明書が手渡されます 		必要に応じて、薬剤師から薬の説明があります 
目標	（手術前）手術の目的・麻酔・術後の経過などがわかる。不安・疑問などを伝えられる （手術後）痛み、吐き気、不安、疑問を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に抑えることができる 飲食・安静を守ることができる		退院後の生活がイメージでき、不安や疑問を医療者に伝えることができる

・わからないことがあれば、遠慮なくお尋ねください。
・症状・状態に応じて予定通りにならないことがあります。その場合は、その都度説明します。

2016年8月作成（2026年4月改訂）　パス委員会承認済　聖隷浜松病院A5病棟